



やまなし

学校教育目標 「心豊かに学びを拓く実践人」
～人や自然を大切にし、社会に学びを拓く児童の育成～

令和6年6月28日発行

児童数 128名

(6月28日現在)

四街道市旭ヶ丘 1-9-12

電話 043-432-0506

FAX 043-432-7344

学校でしか体験できないことを、充実していきたい

校長 原田 裕章

梅雨の時期にもかかわらず、早くも暑い日々が続き、刻々と夏の盛りに向かっています。山梨小でも、夏の訪れを感じる花々が元気に咲き、プールから子供たちの楽しそうな歓声が聞こえはじめました。

さて、6月1日は保護者の皆様、自治会の皆様からのボランティアによって、プール掃除のご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。皆様のご協力のおかげで、本年度のプール開きを6月25日に行うことができました。今の子供たちは、以前、コロナ禍であったために、経験できていないことがたくさんあります。教科書だけでは学ぶことのできない、実際に経験しないと分からぬこともあります。プールでの水泳学習もそうですが、今こそ学校は、学校でしか体験できないことを充実していきたいと思っております。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、今後とも子供たちの学習の充実のために、ボランティア等のご協力を、何卒よろしくお願ひいたします。



さて、6月は「いじめゼロ集会」もあり、いじめをなくすために、一人一人が気をつけなければならぬことを真剣に考え、話し合いました。また、教育相談を行い、日ごろの友達関係での悩みなどを、先生に相談している子もいました。いじめのない、円滑な人間関係を構築するためには、毎日の挨拶だけでなく、「ありがとう」や「ごめんなさい」の言葉も、大にしたい言葉です。山梨小の子供たちは、日頃おから友達や上級生へ、また、お世話になっているふれあいパトロール隊の皆様やボランティアの方々へも、感謝の気持ちをこめて、「ありがとう」の言葉をたくさん言ってくれます。言われた人はうれしい気持ちになりますし、言った人も、自分が言った「ありがとう」の言葉を一番近くで聞くことで、無意識のうちにうれしい気持ちになります。また、「ごめんなさい」の言葉は、自分が間違っていたことに対する謝罪の気持ちを素直に相手に伝える言葉です。「ごめんなさい」と言うことで、言われた人は穏やかな気持ちになりますし、言った人も自分の良心に従ったことで、穏やかな気持ちになるようです。山梨小は、この毎日の挨拶と「ありがとう」

「ごめんなさい」、を自然に言うことができる子供たちの、更なる育成を目指し、子供たちが自らの力で、円滑な人間関係を築くことができるように、教育していきます。これにより、子供たちが友人に囲まれ安心して登校し、「学校は楽しいな」「友達と勉強したい」と思えるよう、職員全員で努めてまいります。今後とも何卒、ご支援をよろしくお願ひいたします。

最後にうれしい報告です。6月4日に行われた印旛郡市小学校陸上競技大会 5年女子走り高跳びにて、○○さんが第1位 優勝しました！

<不審者対応訓練>

6月24日に「不審者対応訓練」を行いました。警察の方が不審者として訓練に参加してくれました。今まで地震や火事の訓練は何度もワンポイント訓練として行っていましたが、不審者対応訓練は年に1回です。

地震の時は放送でベルを鳴らし、不審者の時は笛を鳴らします。今回は3年生の教室に不審者が入ってきた想定で、低・中・高学年ともに、笛が鳴るとどちらかの教室に集まり、机を出入口付近に寄せ、どちらかの教員が不審者の対応をします。不審者は動き回りますのでその時々で対応しないといけません。校内で遭遇したとき、教員が対応するのはもちろんのことですが、普段から以下のことを児童にもお願いしました。

- ・登校時刻が過ぎると、昇降口は施錠します。
- ・遅れてくる場合は職員玄関でインターホンを鳴らしてください。
- ・休み時間や、体育、その他校庭に出るときは、扉があいていたら閉めます。
- ・体育館へ行くとき、最後の人は扉を閉めます。
- ・不審者の見分け方「はちみつじまん」を覚えておこう。

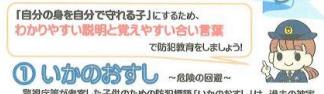
リーフレットは夏休み前に配付いたします。ご家庭でも、外出する際等でも話題にしていただけますよう、お願いいいたします。

<いじめゼロ集会>

6月27日に「いじめゼロ集会」を実施しました。学期ごとに集会を開き、1学期の集会では、子供たちに「いじめ」について話をし、学年毎で「いじめゼロ」のために何ができるか、本年度の取組について発表しました。今後の2学期は中間発表、3学期にはまとめて、成果と次年度に向けてについて話し合います。

「自分ではいじめたつもりはないけど…」と、思っていても、相手がいやな思いをして「いじめられた」と思えば、いじめとなってしまいます。お互いに気持ちよく過ごすためにも、「いじめられた」と思い詰める前に、自分の気持ちを相手に伝えることや、お友達や先生、家族など、周りの人に相談することも大切です。5月の全校集会では「SOSの出し方」について学びました。困ったら、自分の気持ちをいろいろな人へ伝えてください。

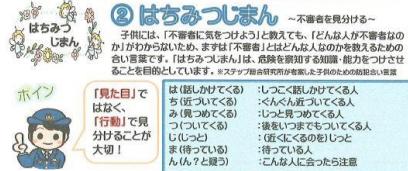
パトロールしながら見守り



①いかのおすし

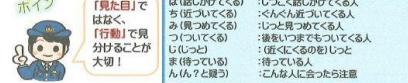
~危険の回避~
警笛や笛を鳴らす子供のための防犯標識「いかのおすし」。過去の警笛回収事例を見て非常に有効な会員登録などで、寸削やグームなどの寝屋仲間などによって、体感的に理解させておくことが必要です。

いか(行かない)ついでに行かない
の(居ない)：車の運転
お(大音を出す)：笛(けい)りん大音を出したり、防犯ブザーを活用する
すぐ(逃げる)：怖(ふしこ)いいたら大人のいる方にすぐ逃げる
し(知らせ)：周りの人に対する知識をせん。どんな人が何をしたのか家の人に警察に知らせる



②はちみつじまん

~不審者を見分ける~
はちみつじまん：「不審者に会ったときにどうして」「どんな人が不審者のか」がわかるため、まずは不審者とどんな人のいるか覚えるための言葉です。「はちみつじまん」は、森林で最初に見かける動物の能力を活かせることを目的としています。スマップ(集合的警戒行動)による利点が記載されています。



③ひまわり

~危険な場所を見分ける~
子供の行動範囲(行動・場所の範囲)の中で「危険な場所」がどこかの場面に見え、近づかないようにさせたための会員登録です。地域安全マップ等を作成し、実際に歩いて確認させるなどの指導が必要です。



子供の安全対策
「見守り」から「教育」へ



<お困りごとありませんか>

7月12日～17日に面談が行われます。本校は2学期制となりますので、夏季休業中の前に通知表はありません。1学期の学校での様子に加え、夏季休業中の過ごし方や、学習の仕方など、お困りな点等ございましたら、ご相談ください。

なお、その他困っていることがありますたら、お子様はもちろん、保護者の方も相談できます。月に1～2回カウンセラーが来校しておりますので、ご活用ください。

次回は7／5です。(お問い合わせ432-0506)

<プール学習でのいつでもサポーター ありがとうございます>

本年度より、プール学習の際、保護者有志による「いつでもサポーター」の方々にトイレに行く際の脱ぎ着の補助や、プールサイドからの見守りをお願いしました。安全面も万全になり、大変助かっております。7月も引き続きよろしくお願いいいたします。